
RUBBISH NOISE

けーすけ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

RUBBISH NOISE

【コード】

N1895C

【作者名】

けーすけ

【あらすじ】

ロック小僧の青春DAYS!!バンドに恋に友情にはっちゃける
毎日!!

プロローグ的な

星が綺麗な夜

空を見ながら僕は

君のことしか頭になかった

転ぶのを怖がって歩いてた僕は

こんなにも綺麗な空を見逃した

怖がってる場合じゃないだろ

僕らは昨日を積み上げて

今日を歩くんだ

僕はヒーローじゃないから

腐ったこの世界を救うことはできないよ

でも君の歌ならこうして歌えるんだ

声が枯れても歌うから

だから聞いてくれよ僕の歌を

気持ちのいい風が吹いてるな

聞いてくれよ僕の歌を

それが僕にとって生きるという事だから

R U B B I S H N O I S E

山口 圭吾

朝6時。けたたましい音楽と共に目覚めたのは山口 圭吾。17歳の高校2年生。

「あー…ねっみい…」

奇抜な髪型の頭をボリボリと掻きながら階段を下りてコーヒーとサラダだけ飲み込むと顔を洗って部屋に戻った。

クローゼットを開き、学校に来て行く服を選んで髪をセットする。

なにやら軽そうなかバンとギターケースを持って家を出る。

自転車を漕いでやって来たのは河川敷。犬の散歩をしてる人がいるが顔馴染みのようで圭吾と挨拶を交わす。

彼はギターを取り出して慣れた手つきでチューニングしていく。

～ 思い出を巡らして 今をただやり過ごして 散らかったこの部屋に 夢の置き場を探す～

その風貌からは予想できないような透き通る声で圭吾は歌い始めた。というのを見た目がそもそも高校生にはとても見えないのである。

濡れたカラスのような真っ黒で右側が刈り上げており、そこから斜めに目に掛かる前髪。刈り上げ部分と右の眉にはライン、顎にはヒ

ゲが生えている。

服装は色が薄くボロボロにダメージ加工してあるデニムにミリタリーブーツ、黒地に派手なドクロがデザインされているTシャツ。生粋のロックスタイルである。

圭吾の学校は制服はなく、髪も染めたりしなければ何も問題はないので彼は堂々と通っていた。

「ふう…」

一息付くと彼はギターをしまい、自転車に乗った。時刻は7時半。学校に行かなければならないのだ。

ゆったりとしたペースで自転車を漕いで行くと登校する生徒がちらほら見えて来た。

自転車を停めて教室に向かう。すれ違う生徒達は楽しそうに会話しているが圭吾には学校にいることは苦痛以外何もなかった。

そう。今日までは…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1895c/>

RUBBISH NOISE

2011年1月15日02時36分発行